

## 〈訪問教育〉

### 1 目標

- 一人ひとりがよりよく生きていけるために、健康状態を保持するとともに、人のかかわりに気持ちを向けながら、社会とつながっていく主体的な力を育む。

### 2 学習指導

#### ○ 学習形態

- ◇ 児童生徒の各家庭を訪問し、学習指導を行う。
- ◇ 児童生徒の個々の障害状況や健康状態を踏まえ、保護者と連携した個別指導の学習形態をとる。また、各家庭の事情やライフステージを考慮しながら教育活動を実施する。
- ◇ 主に自立活動を中心とした学習を実施するが、児童生徒の実態に応じて、知的各教科の目標及び内容の一部を取り入れるなど、課題に合わせた指導を行う。

#### ○ 自立活動

- ◇ 生命の保持及び健康管理に関する指導を重視し、学習活動の基盤となる感覚の活用や概念の形成を図る。
- ◇ 教員とのやりとりを深めながら、対人関係の形成やコミュニケーション能力の向上を図る。

#### ○ 特別の教科 道徳

- ◇ 毎日の生活や学習の場面の中での豊かなかかわりを通して、よりよく生きていくための意欲を高めていく。

#### ○ 特別活動

- ◇ 主治医や保護者と連携しながら、可能な範囲で生活経験を広げていける活動を模索する。

#### ○ 交流及び共同学習

##### ◇ 方針

- ・健康状態を踏まえながら、可能な範囲で地域への外出や集団活動の体験の機会を設ける。
- ・同年代の児童生徒とのかかわりを、スクーリングや行事を共にすることで経験し、社会とのつながりを実感したり、生活の励みにつながったりするような機会を設けていく。

##### ◇ 努力点

- ・主治医や保護者と連携しながら、健康状態の把握及び保持に努める。
- ・活動や経験を共有する中で、共に生きていく上で必要な態度や能力を育てる。

### 3 進路支援

- 個々のニーズに応じた「個別の教育支援計画」の作成を進め、関係諸機関と連携しながら、地域の中でよりよく生きるための相談や情報提供などを行う。
- 災害時を含め、緊急時に適切な支援が受けられて、地域で安心して暮らせるように、関係機関と課題共有をする機会を設けていく。

#### 4. 週時間割表

訪問教育時間割表(例)

曜日	月	火	水	木	金
午前 10:00~12:00	個別学習			個別学習	
午後 14:00~16:00		個別学習			

- ・ 週3回の訪問を基本に行う。
- ・ 午前は10:00~12:00、午後は14:00~16:00の時間帯で授業を行う。

##### [学習内容]

\*一人一人の課題に応じながら4つの項目に分けた学習を進め、授業を行っている。

##### <わかる>

いろいろな感覚機能(視覚、聴覚、触覚など)を活用する。活動の流れが分かり見通しを持って取り組むことを促す。実態に合わせて教科的な内容を取り入れ行う。

##### <かかわり>

表情や声、身振り等を用いて意思のやりとりが行えるようになる等、コミュニケーション手段を見つけながらかかわりへの意欲向上を図り、自分を取り巻く人との関係性を深めていく。健康に考慮しながら、外出の機会を設けて地域とのつながりを作る。

##### <からだ>

身体の動かし方、姿勢の変換、呼吸の仕方などの身体意識の向上を図る。

##### <日常生活>

健康の保持・増進や体力の向上を図る。日常生活の様々な事柄に興味を示し、主体的に生活を過ごせるように促していく。